

③ 都心部の魅力発見

③ー１ 都心部の魅力を伝える・知ってもらおう仕組みや取り組み＜事業主体：市・民＞

目標年次：短期

市内外の多くの人たちに、都心部に来てもらい、長時間楽しんでもらうため、都心部の魅力、見所、飲食スポットなどの情報が広く行き渡る仕組みを構築する。

都心部には、小倉城、紫川、旦過市場、文学史跡、特徴ある橋や有名な建築家が設計した建物などがあり、一つ一つが高い評価を得ている。この都心部の魅力を市内外のより多くの人に知っていただく取り組みの充実を図る。

③ー２ 都心のオアシスとして紫川周辺の魅力向上を図る＜事業主体：市・民＞

目標年次：短期～長期

これまで整備してきた紫川周辺の水辺空間を生かす仕組みを検討する。具体的には、歩きやすい遊歩道の整備や、水環境館におけるさらなる魅力向上策について検討する。

また、旦過市場については、治水機能向上を図る河川改修と一体となった市場の再整備を行い、都心部の回遊性の向上とにぎわいを創出する。

③ー３ 新たな夜景観光コースの開発・運営＜事業主体：民＞

目標：500人／年 目標年次：短期

Jリーグの試合観戦や観光、出張等で本市を訪れた人たちに、小倉駅新幹線口に立地する新日鐵住金八幡製鐵所小倉地区にある「北九州アイアンツリー」をはじめ、市内の夜景を海上や陸上から楽しんでもらうため、小倉渡場を発着し、工場が多く立地する小倉や戸畑、洞海湾などを巡るクルージングツアーや、ユニークな夜景観賞コースを開発し、夜のにぎわいを図っていく。

③ー４ 夜のまち歩き“ナイトツアー”＜事業主体：民＞

目標：100人／年 目標年次：短期

NPO法人等が中心となり、市内外の人を対象にした“ナイトツアー”を開催する。日本初のアーケード・魚町銀天街や24時間営業のスーパー、ぬかみそだきや焼きうどんなどの小倉に伝わる食文化、角打ち、歴史、街並みなど都心部の魅力を堪能する「夜のまち歩き“ナイトツアー”」を実施する。

③ー５ 女性を対象にしたモニターツアーの実施＜事業主体：市＞

目標：100人／年 目標年次：短期

都心部の魅力を福岡市や近隣地域に居住する女性に感じてもらう「モニターツアー」を実施する。都心部の見所、食、特有の文化などを体験することで、ツアー参加者自身がリピーターとなることや、口コミによる集客効果を狙う。

方向性Ⅲ にぎわいを生むためのもう一つの視点

1 基本的な考え方

交通利便性が高く、都市機能が集積する小倉駅周辺地域において、リノベーションによる遊休不動産の再生、オフィスの集積など、都心として魅力を高める施設・機能の集積を図る。

また、歩いて暮らせる集約型まちづくり（コンパクトシティ）の実現に向け、都市機能の強化を図り、都心部の魅力を高めることで、民間事業者の投資・開発意欲を高め、民間活力を誘導する。

2 事業の柱と主な事業

（１） リノベーションによる新しい魅力づくり

- ・リノベーションの手法を活用したにぎわいの創出及び起業支援

（２） 働く・学ぶ（オフィス従事者、起業家支援など）・暮らす空間の創出

- ・小倉駅周辺のオフィス集積
- ・高齢者の学び・集う場の充実
- ・起業を支援する仕組み
- ・専門学校、サテライトキャンパス等の誘致・集積
- ・歩いて暮らせる街なか居住の推進

（１）リノベーションによる新しい魅力づくり

＜主な事業＞

① リノベーションの手法を活用したにぎわいの創出及び起業支援＜事業主体：市・民＞

目標：リノベーション件数 年間５件 目標年次：短期

「小倉家守構想」の下、街なかの遊休不動産（空き家、空き店舗）のリノベーションを進め、安価に、起業家向けのオフィスや店舗、レンタルスペース等を提供していく。

若者や主婦など起業を志す人や、街なかでビジネスをする人などの活動の場ができ、都心部の魅力の向上が図られ、にぎわいづくりに寄与する。

併せて、「リノベーションスクール@北九州」の開催を通じて、取組内容等を全国に発信することで、本市がリノベーションの情報発信拠点になる。

（２）働く・学ぶ（オフィス従事者、起業家支援など）・暮らす空間の創出

＜主な事業＞

① 小倉駅周辺のオフィス集積＜事業主体：市＞

目標：誘致等による新規雇用者数 １,０００人 目標年次：中期～長期

再開発等によって、最新のオフィス機能を備えたスペースの提供を行うとともに、小倉駅周辺の空きテナントへのオフィス誘致を行い、都心でのホワイトカラーの働き場所を作り出すとともに、都心部への通勤者を増やし、街の活性化につなげる。

② 高齢者の学び・集う場の充実＜事業主体：市・民＞

目標：１,０００人／年 目標年次：短期～中期

年長者研修大学校の一部講座を都心部で開催するなど、日ごろからお年寄りの方が、まちなかに来て、学び、飲食、買い物などを楽しんでもらうきっかけを作る。

また、高齢者の健康増進を図るため、介護予防や、運動を通じた健康づくり、生きがいづくりにつながるイベントなどを行う。

③ 起業を支援する仕組み＜事業主体：市・民＞

目標：利用者：１０万人／年 目標年次：短期

都心部の空オフィスに、シェアオフィスや３Ｄプリンター・スキャナー等を備えたデジタル工房等を設置し、ものづくり分野などの起業家に活動スペースを提供する。

また、テレワークセンターなどの起業支援機関との連携を進め、都心部を起業家の輩出・育成拠点とする。

- ・MIKAGE1881（H24年10月開設）
- ・Co Working Space 秘密基地（H26年1月開設）
- ・fabbitt（H26年3月開設）

④ 専門学校、サテライトキャンパス等の誘致・集積＜事業主体：市・民＞

目標年次：中期

小倉駅、西小倉駅など、交通利便性の高いエリアを中心に専門学校や大学のサテライトキャンパス、各種学校等の誘致・集積を進める。

⑤ 歩いて暮らせる街なか居住の推進＜事業主体：市・民＞

目標年次：長期

コンパクトシティの実現に向けて、都心地区の開発に係る規制のあり方や開発に対する支援制度等、民間事業者による都市開発を誘導するための検討を行ない、街なか居住の推進を図る。

アクションプラン事業一覧

I 人がさらに集まる仕掛け	事業内容	事業主体	目標年次			目標・成果など	プラン掲載ページ
			短期 (～27年度)	中期 (～29年度)	長期 (～32年度)		
1 新幹線口や小倉駅周辺のポテンシャルを活かした多彩なイベント誘致・開催	○スタジアムの集客強化(イベント等開催)	市・民		○		スタジアム来場者数 21万人／年 スタジアムの観戦環境の向上	5
	・スタジアムにおける地元製品の活用・PR (街かどショールーム)	市		○		地元企業の製品をスタジアムに活用	掲載なし
	・スタジアムの市民利用の推進	市・民		○		試合開催日以外の日常利用の促進を図る	掲載なし
	○あさの汐風公園を活用したイベント開催	市・民		○			5
	・新幹線口エリア全体でのマルシェ・同人誌の展示 即売の開催	市・民		○		イベント参加者数:3万5千人／年	5
	・食のイベント(食市食産、ご当地グルメ、朝市など)	市・民	○				5
	○若者でにぎわうまちづくりプロジェクト	市・民	○			イベント参加者数 4万人／年 ①10,000人[ストリートダンスフェスティバル] ②10,000人[JUMPING Fes] ③20,000人[こくらハロウィン]	5
	・北九州ご当地グルメのアンテナショップの設置検討	市・民		○		焼うどん、焼きカレーなどご当地 グルメの飲食や情報発信機能を行 うアンテナショップの設置検討	掲載なし
	○MICE誘致	市・民	○				6
	○西日本総合展示場の更なる利 用の検討	市・民		○		スタジアムと連携したスポーツ 利用の促進等の機能充実	6
2 西日本総合展示場など周辺施設の更なる利 用の検討	○ガレリア(AIM2階)の活用策の検討	市・民		○		魅力向上を図り、都心のにぎわい に寄与するような活用策について 検討	6
	○コスプレや同人誌の展示即売などのサブカル イベント開催	市・民	○			あるあるCityと連携したサブカル イベントの開催	7
	○にぎわい施設等の誘致	市・民			○	新たな施設の入場者数 10万人／ 年	7
3 あるあるCityとの連携 によるサブカル系イベント の開催	○民間イベント等のバックアップ	市	○			ノウハウの提供、関係部署の紹介 など	7
	○イベントや施設間の連携を促進する仕組みづくり	市・民		○		にぎわい施設((仮称)浅野町緑 地、横断歩道橋等)の整備、及び、 エリアマネジメントとして、施設間 の連携を促進する体制づくり	7
	○にぎわい施設・空間の整備	市		○		(仮称)浅野町緑地、横断歩道橋、 スタジアム外周デッキ、港湾緑地 の整備	7
4 イベントがしやすい環 境づくり	○公共空間を活用したにぎわい創出の仕組みづくり	市・民		○		公共空間を活用したにぎわい創出 の仕組みづくり	7
	○まちなか無料公衆無線LANサービスの環境づくり	市・民		○		まちなかにおいて無料で無線LAN に接続できる環境づくり	8
5 公共空間の魅力アッ プ							
II 滞在時間を延ばす仕掛け							
1 回遊性を高める仕組 み	○スタジアム来場者が商店街等を回遊する仕組み	市・民		○		スタジアム来場者が商店街等を回 遊する仕組みづくり	10
	○イベント情報の集約・告知等による回遊性向上	市・民	○			新幹線口エリアや勝山公園等で 開催されるイベント情報を集約し、 開催日程の調整、駅南北で同時開 催できる仕組みづくり	10
	○小倉駅の南北連絡通路のリニューアル	市・民		○		低天井部補修工事	11
	○小倉城口の憩い空間(緑化)の整備	市	○			本市の玄関口にふさわしい景観 形成	11
	○JAM広場の魅力向上策検討	市・民		○		魅力向上策検討	11
	○小倉駅新幹線口のにぎわい創出に資する リニューアル	市・民		○		新幹線口1Fコンコースの活用策等 を検討(JR西日本グループ)	11
	○回遊性の向上に向けた歩行者動線の検討	市		○		横断歩道橋の整備 回遊性の向上	12
	○キャラクターストリートの検討	市			○	本市出身漫画家のアニメキャラク ターの像を並べ集客を図る	12
	○「文化・芸術の街 北九州」の発信	市		○		文学的素材や文化資源・文化的取 組みをつなげる仕組みづくりを検討	12
2 アフターイベントを盛り 上げる都心部の魅力を高 める取り組み	○サンロード商店街のリニューアル	市・民	○				12
	○小倉城周辺の魅力向上検討	市	○			小倉城入場者数:125千人(H30)	12
	○都心部の魅力を伝える・知ってもらふ仕組みや 取り組み	市・民	○			都心部の見所、飲食スポットなど の情報が広く行きわたる仕組み構 築	13
	○都心のオアシスとして紫川周辺の魅力向上を図る	市・民			○		13
	○新たな夜景観光コースの開発・運営	民	○			500人／年	13
	○夜のまち歩き“ナイトツアー”	民	○			100人／年	13
	○女性を対象にしたモニターツアーの実施	市	○			ツアー参加者 100人／年	13

アクションプラン事業一覧

Ⅲ にぎわいを生むための もう一つの視点	事業内容	事業 主体	目標年次			目標・成果など	プラン 掲載 ページ
			短期 (～27年度)	中期 (～28年度)	長期 (～32年度)		
1 リノベーションによる 新しい魅力づくり	○リノベーションの手法を活用したにぎわいの創出 及び起業支援	市・民	○			リノベーション件数:5件/年	15
	○小倉駅周辺のオフィス集積	市			○	誘致等による新規雇用:1,000人	15
	○高齢者の学び・集う場の充実	市・民		○		1,000人/年	15
	○起業を支援する仕組み	市・民	○			利用者:10万人/年(登録者 約700人)	15
	○専門学校、サテライトキャンパス等の誘致・集積	市・民		○			16
	・魅力ある商業・飲食事業者の出店支援	市・民	○			○歩行者通行量の増加 ・H27までに3%UPを目指す ○市の空き店舗補助を活用した 新規出店 ・H27までに5店舗の新規出店を目 指す ○空き店舗率の改善 ・H27までに空き店舗率10%未満を 目指す	掲載なし
	○歩いて暮らせる街なか居住の推進	市・民			○	コンパクトシティの実現	16
2 働く・学ぶ(オフィス従 事者、起業家支援など)・ 暮らす空間の創出							